

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月11日

上場会社名 ウライ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2658 URL http://www.urai.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 裏井 紳介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務統括本部長兼経理部長 (氏名) 森 和樹 TEL 075-361-0330

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,689	△3.7	△64	—	△56	—	△57	—
25年3月期第2四半期	4,872	△0.4	44	—	30	—	862	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △54百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 805百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△5.36	—
25年3月期第2四半期	80.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	10,097	5,164	51.1	481.27
25年3月期	10,336	5,251	50.8	489.35

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,164百万円 25年3月期 5,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	△1.3	60	△53.5	60	△40.0	50	△94.6	4.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	11,000,000株	25年3月期	11,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	269,958株	25年3月期	268,830株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	10,730,322株	25年3月期2Q	10,731,539株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の発表時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外となっております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の金融緩和策等による景気回復への期待感を背景に、株価の回復・円高の是正の動きもあり、徐々に緩やかな改善の兆しが見られるものの、不安定な海外経済や電気料金の値上げ等もあり、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する和装業界におきましても、市場縮小傾向に下げ止まり感はでてきましたものの、長引く消費低迷に伴い依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、事業部門間の取扱商品の相乗効果による販売の強化、消費者への商品提案を中心とした商品開発と原価率改善を目的に商品管理体制の見直しを行うとともに、販売促進企画の提案や催事展開の効率化、固定費の削減など営業効率の改善に努めてまいりました。

結果といたしまして、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,689百万円と前年同期比182百万円(3.7%)の減少、営業損失は64百万円(前年同期は44百万円の営業利益)、経常損失は56百万円(前年同期は30百万円の経常利益)となり、四半期純損失は57百万円(前年同期は特別利益に固定資産売却益750百万円を計上したこと等により862百万円の四半期純利益)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① きもの事業

きもの事業におきましては、消費低迷の影響から厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、消費者の方への商品提案に心がけた「和」の文化を活かしたブランド商品や、タレントのローラを起用した新振袖ブランド「ROLA」の商品戦略実施及びリーズナブルな商品の展開を行うとともに、商品管理体制の改善に基づく商品効率の向上、また、小売店頭活性化への販売促進企画の提案や得意先催事への応援強化等積極的な営業活動の展開と事業効率の改善に努めてまいりました。結果といたしまして、売上高は2,877百万円と前年同期比28百万円(1.0%)減少、セグメント損益におきましては、0百万円のセグメント損失(前年同期は60百万円のセグメント利益)となりました。

② ジュエリー事業

宝石業界におきましては、高額商品の販売は回復基調の兆しがあるものの依然として厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、ダイヤ及び色石等素材商品につきましてはファッション性と価格競争力の強化、また、多様な消費者ニーズへの対応を図るべく店頭展開が可能な「ラウラベラッティ」を新たなデザイナーブランド商品として加え、ブランド商品の拡充とスペインのブランドである「カレライカレラ」の展開を図るとともに、得意先催事に対する積極的な販売促進企画の提案、在庫の縮減等事業効率の改善に努力してまいりました。結果といたしまして、売上高は800百万円と前年同期比60百万円(7.0%)減少、セグメント損益におきましては、3百万円のセグメント損失(前年同期は14百万円のセグメント利益)となりました。

③ ファッション事業

毛皮・レザー等の重衣料商品全般は、猛暑の影響やカジュアル化傾向による単価の下落等から厳しい状況で推移いたしました。このような状況の下、当事業では、当社取扱ブランド商品を中心に軽量感としなやかさを重視したファッション性の高い商品の展開活動を行うとともに、オストリッチやクロコダイル等爬虫類素材の高級ハンドバッグの拡販に努め、商品管理の徹底、催事効率の改善等事業効率の向上に努力してまいりました。結果といたしまして、売上高は1,011百万円と前年同期比93百万円(8.5%)減少、セグメント利益におきましては、83百万円と前年同期比42百万円(33.8%)の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,097百万円となり前連結会計年度末に比べ239百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産は6,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円の減少となりました。主な要因は現金及び預金が164百万円、商品及び製品が102百万円の増加に対し、受取手形及び売掛金が435百万円減少したことによります。

固定資産は3,228百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円の減少となりました。主な要因は会員権等が40百万円、差入保証金が24百万円減少したことによります。

(負債)

流動負債は3,935百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円の減少となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が174百万円の増加に対し、短期借入金が105百万円、未払法人税等が68百万円減少したことによります。固定負債は997百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円の減少となりました。主な要因は長期借入金が60百万円、社債が29百万円減少したことによります。

(純資産)

純資産合計は5,164百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円の減少となりました。主な要因は利益剰余金が89百万円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、1,170百万円となり前年同期に比べ142百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は313百万円(前年同期は155百万円の獲得)となりました。主な要因は売上債権の減少額436百万円、仕入債務の増加額174百万円に対し、税金等調整前四半期純損失56百万円、たな卸資産の増加額102百万円によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金84百万円(前年同期は1,299百万円の獲得)となりました。主な要因は会員権の売却による収入39百万円、保険積立金の解約による収入25百万円に対し、有形固定資産の取得による支出10百万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は233百万円(前年同期は1,464百万円の使用)となりました。主な要因は短期借入金の純減額105百万円、長期借入金の返済による支出60百万円によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成25年5月10日付「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想を変更しております。

詳細は、平成25年11月8日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,005,895	1,170,063
受取手形及び売掛金	3,843,799	3,407,937
有価証券	—	2,000
商品及び製品	2,149,113	2,251,234
その他	97,534	126,145
貸倒引当金	△95,800	△89,100
流動資産合計	7,000,543	6,868,280
固定資産		
有形固定資産		
土地	914,538	914,538
その他(純額)	959,708	936,041
有形固定資産合計	1,874,247	1,850,580
無形固定資産	9,449	9,693
投資その他の資産		
投資有価証券	757,788	755,829
その他	1,134,353	1,051,100
貸倒引当金	△439,961	△438,258
投資その他の資産合計	1,452,181	1,368,671
固定資産合計	3,335,878	3,228,945
資産合計	10,336,422	10,097,226
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,666,851	1,841,357
短期借入金	1,756,680	1,651,680
1年内償還予定の社債	58,000	58,000
未払法人税等	79,387	10,580
賞与引当金	101,500	91,100
売上割戻引当金	13,029	11,258
返品調整引当金	34,918	34,443
その他	237,232	237,239
流動負債合計	3,947,598	3,935,658
固定負債		
社債	203,000	174,000
長期借入金	421,010	360,170
退職給付引当金	62,683	55,489
その他	450,786	407,846
固定負債合計	1,137,480	997,506
負債合計	5,085,079	4,933,165

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,857,196	1,857,196
資本剰余金	1,577,320	1,577,320
利益剰余金	4,441,424	4,351,697
自己株式	△22,691	△22,861
株主資本合計	7,853,249	7,763,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,882	201,497
土地再評価差額金	△2,800,789	△2,800,789
その他の包括利益累計額合計	△2,601,906	△2,599,291
純資産合計	5,251,342	5,164,060
負債純資産合計	10,336,422	10,097,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,872,384	4,689,884
売上原価	3,151,011	3,052,460
売上総利益	1,721,373	1,637,423
返品調整引当金戻入額	42,050	34,918
返品調整引当金繰入額	40,050	34,443
差引売上総利益	1,723,373	1,637,898
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	68,615	65,506
販売促進費	276,373	293,767
広告宣伝費	25,438	31,581
貸倒引当金繰入額	△22,456	△6,500
役員報酬	42,921	39,246
給料手当及び賞与	513,169	527,567
賞与引当金繰入額	91,000	91,100
退職給付費用	69,946	68,389
福利厚生費	103,186	102,017
旅費及び交通費	246,933	245,327
減価償却費	34,616	35,093
その他	228,977	209,250
販売費及び一般管理費合計	1,678,720	1,702,347
営業利益又は営業損失(△)	44,652	△64,448
営業外収益		
受取利息	136	120
受取配当金	6,617	6,423
不動産賃貸料	21,869	22,652
貸倒引当金戻入額	—	696
その他	7,369	15,461
営業外収益合計	35,993	45,355
営業外費用		
支払利息	25,630	17,261
社債利息	118	1,417
社債発行費償却	6,350	—
不動産賃貸費用	17,364	16,920
貸倒引当金繰入額	382	—
その他	467	1,885
営業外費用合計	50,313	37,484
経常利益又は経常損失(△)	30,333	△56,578
特別利益		
固定資産売却益	750,510	9
投資有価証券売却益	4,700	—
特別利益合計	755,210	9

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
特別損失		
固定資産売却損	—	158
固定資産除却損	—	71
投資有価証券売却損	2,396	—
投資有価証券評価損	1,079	—
特別損失合計	3,475	229
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 (△)	782,068	△56,797
法人税、住民税及び事業税	69,636	2,768
法人税等調整額	△149,914	△2,033
法人税等合計	△80,277	735
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	862,345	△57,533
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	862,345	△57,533

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	862,345	△57,533
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△56,807	2,614
その他の包括利益合計	△56,807	2,614
四半期包括利益	805,538	△54,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	805,538	△54,918
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	782,068	△56,797
減価償却費	38,208	38,352
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,622	△7,194
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,400	△10,400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△57,718	△8,403
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△475
その他の引当金の増減額(△は減少)	△1,137	△1,771
受取利息及び受取配当金	△6,754	△6,544
支払利息	25,630	17,261
社債利息	118	1,417
社債発行費償却	6,350	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,079	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,304	—
固定資産売却損益(△は益)	△750,510	148
固定資産除却損	—	71
売上債権の増減額(△は増加)	270,971	436,008
たな卸資産の増減額(△は増加)	△130,717	△102,120
仕入債務の増減額(△は減少)	55,626	174,506
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,914	△10,195
その他	△22,655	△67,958
小計	179,320	395,904
利息及び配当金の受取額	6,892	6,543
利息の支払額	△24,406	△18,071
法人税等の支払額	△6,023	△70,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,782	313,568
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△950	△10,559
有形固定資産の売却による収入	1,293,600	40
投資有価証券の取得による支出	△25,002	—
投資有価証券の売却による収入	25,468	—
貸付金の回収による収入	945	200
無形固定資産の取得による支出	—	△1,350
会員権の売却による収入	—	39,010
保険積立金の解約による収入	3,425	25,140
その他	2,362	31,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,299,849	84,270

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,316,020	△105,000
長期借入れによる収入	610,000	—
長期借入金の返済による支出	△14,380	△60,840
社債の発行による収入	283,649	—
社債の償還による支出	—	△29,000
リース債務の返済による支出	△6,216	△6,466
自己株式の取得による支出	—	△170
配当金の支払額	△21,463	△32,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,464,430	△233,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,798	164,167
現金及び現金同等物の期首残高	1,036,518	1,005,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,027,720	1,170,063

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	きもの事業	ジュエリー 事業	ファッション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,905,586	861,194	1,105,603	4,872,384	—	4,872,384
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,905,586	861,194	1,105,603	4,872,384	—	4,872,384
セグメント利益	60,467	14,390	126,837	201,695	△157,042	44,652

(注)1. セグメント利益の調整額△157,042千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は総務・人事・経理・情報部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	きもの事業	ジュエリー 事業	ファッション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,877,230	800,933	1,011,720	4,689,884	—	4,689,884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,877,230	800,933	1,011,720	4,689,884	—	4,689,884
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	△110	△3,729	83,917	80,078	△144,526	△64,448

(注)1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△144,526千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は総務・人事・経理・情報部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。